



テーマ①：COVID-19 と作業・作業科学

この案内の執筆時点（2021年12月）では、コロナパンデミックが2年間続いています。変異株（今回、オミクロン）が出現し続けているため、コロナはしばらくの間、私たちと一緒にいるでしょう。日本作業科学研究会の機関誌「作業科学研究」では、この「COVID-19 と作業・作業科」という特集版の以下の目的に関連する研究論文、レビュー、総説などの投稿を募集しています（[投稿規定](#)）。

1. コロナ禍にあるこの時代に、作業科学とその教育をどのように実践できるかを探り、理解を深め、将来起こりうる同様のパンデミックに対する教訓としての示唆とする。
2. 人々の作業への参加・結びつき、特に COVID-19 の影響を大きく受ける作業を探り、より深く理解する（仕事などの生産的な活動や社会的作業だけでなく、COVID-19 感染症から完全に回復したとは言えない後遺症に悩む元患者の作業全般についても考えたいと思います）

投稿の締め切り：7月31日 **10月31日**

テーマ②：また、第24回学術大会のテーマ「日々の暮らしを彩る作業」に関連した投稿もお待ちしております。このテーマについて説明は、[第24回学術大会抄録集](#)に参考をなされ下さい

投稿の締め切り：3月31日 **7月31日**

[投稿規定](#)